

平成 16 年 7 月期 第 3 四半期業績の概要（連結）

平成 16 年 5 月 25 日

会 社 名 株式会社イチヤ
 コー ド 番 号 9 9 6 8
 (URL <http://www.ichiya.biz>)

登録銘柄
 本社所在都道府県 高知県

代 表 者 役 職 名 代表取締役社長
 氏 名 吉 岡 公 和
 問 い 合 せ 先 責任者役職名 取締役財務本部長
 氏 名 曾我部 達雄

TEL (088) 823 - 2638

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無

2. 平成 16 年 7 月期第 3 四半期の概況（平成 15 年 8 月 1 日～平成 16 年 4 月 30 日）

(1) 売上高 (金額単位：百万円未満切り捨て)

	売 上 高	
	百万円	%
16 年 7 月期第 3 四半期	567 (-)	
15 年 7 月期第 3 四半期	- (-)	
(参考) 15 年 7 月期	856 (72.8)	

(注) 1. 売上高は、当該四半期までの累計値であります。

2. パーセント表示は、前年同四半期比増減率を表示しております。

3. 15 年 7 月期第 3 四半期は連結売上高を算出しておりませんので数値は記載しておりません。

4. 業績数字につきましては、監査法人による監査を受けておりません。

[売上高に関する補足説明]

当該四半期における売上高は、衣料事業は厳しい状態が続いているものの、中間決算短信公表時の業績見込みの通り推移しております。飲食事業は当該第 3 四半期については昨年発生した米国 B S E (牛海綿状脳症) の影響が残り売上高は業績見込みより 7.1% 下回っております。また、その他事業の I T 関連事業については、譲受けした事業の採算性の見込みが立たないことから本年 2 月に撤退いたしました。

事業部別売上高は次のとおりであります

事業部	16 年 7 月期第 3 四半期		(参考) 15 年 7 月期	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
衣料事業	208	36.8	328	38.4
飲食事業	293	51.7	479	56.0
その他事業	65	11.5	48	5.6
合計	567	100.0	856	100.0

(2) 当四半期において当社の財政状態および経営成績に重要な影響を与えた事象

平成 16 年 2 月 1 日から平成 16 年 4 月 30 日までの間に、次に掲げる事象の発生および事柄について決議しております。

譲受け事業 (インターネットサービス事業) からの撤退 (平成 16 年 2 月 27 日)

ティー・シー・ジェイ株式会社から譲受けした、インターネットサービス事業から、採算の取れた収益見込みが立たないことから撤退を決議いたしました。

株式会社ジェイディーとの業務提携の解消 (平成 16 年 2 月 27 日)

当社のインターネットサービス事業からの撤退に伴い業務提携を解消

第三者割当てによる新株予約権発行（平成 16 年 3 月 12 日）

当社の事業資金および運転資金の確保のため、第 2 回新株予約権の発行を決議いたしました。（臨時株主総会承認日：平成 16 年 5 月 12 日）

株式移転による完全親会社設立および持株会社体制による事業再編（平成 16 年 4 月 19 日）

当社ならびに子会社を含めた企業グループとして、健全かつ競争力のある会社を目指す為、株式移転による完全親会社設立を決議いたしました。（臨時株主総会承認日：平成 16 年 5 月 12 日）

株式会社フリーマーケット社との業務提携の解消及び関連会社株式の取得に伴う子会社の異動（取得）（平成 16 年 4 月 28 日）

当社のインターネットサービス事業からの撤退に伴い業務提携を解消、又、関連会社(株)F M - I C は当社が全株式取得し運営することといたしました。

第 1 回新株予約権の権利行使状況

当該四半期（平成 16 年 2 月 1 日から平成 16 年 4 月 30 日まで）の間に権利行使された新株予約権は 14,080 個、総額 352,000 千円が権利行使されております。なお、これにより発行済株式総数が 14,080 千株、資本金が 183,040 千円、資本準備金が 168,960 千円増加しております。

3. 平成 16 年 7 月期の連結業績予想（平成 15 年 8 月 1 日～平成 16 年 7 月 31 日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1 株当たり 予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	721	464	623	8 03

〔業績予想に関する定性的情報等〕

当期の業績予想につきましては、国内景気が本格回復するまでには至っておらず、未だ予断を許さない状況であります。当社におきましては第 3 四半期の業績は概ね計画どおり推移しており、中間決算短信公表時の通期業績予想に変更はありません。

上記業績予想は、現時点における入手可能な情報に基づき算定しているため、実際の業績は今後の経済状況等の変化により大きく異なる結果となる可能性があります。